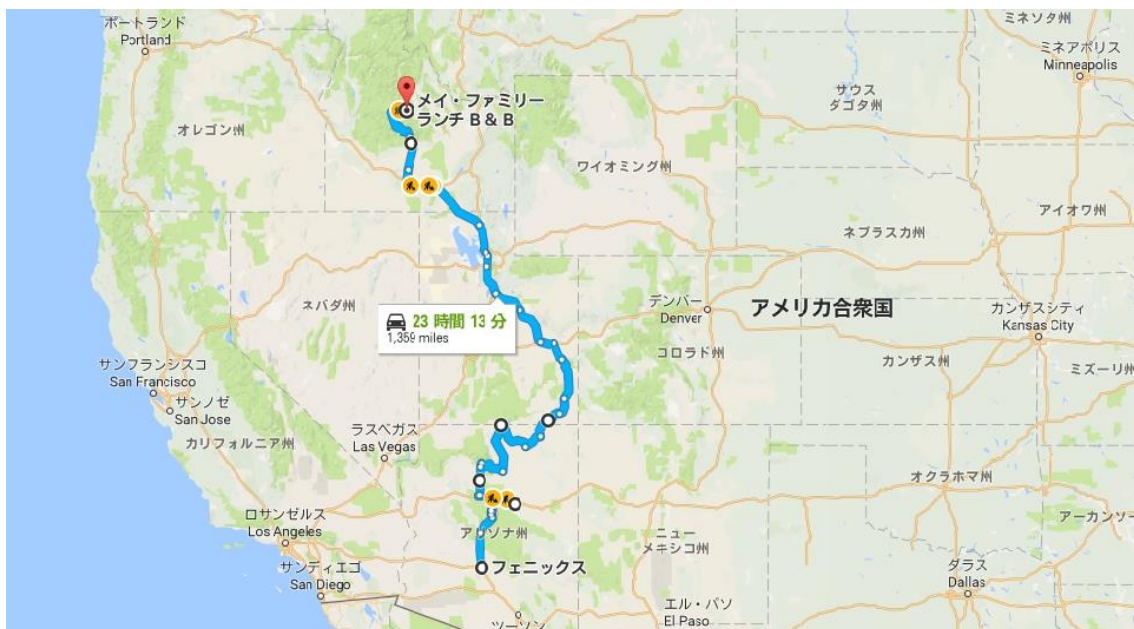


## 皆既日食 USA ツアー報告 Great America Eclipse

小山隆志

国際航空旅行サービス(KTS)からアメリカでの皆既日食ツアーの案内が出たのは2016年12月のクリスマスの日でした。早速、前年にインドネシア日食で一緒だった仲間に連絡をとるとFコースに参加したいとのこと。Fコースは8日間の旅で見所もたくさん、人気になりそうなコースです。急いでその晩に申し込みましたが、数日後には満員御礼という状況でした。

このツアーの概要は2017年8月16日に羽田を出発してLos Angelesを経由してアリゾナ州Phoenixまで飛行機を乗り継ぎ、そこから貸し切りバスでアリゾナ州、ユタ州の観光地を巡りながらアイダホ州の観測地へと日々北上していくハードな行程です。



<https://goo.gl/maps/fHBJqDk61c42>

(1mile≒1.60934km)

7月末になり荷物などの準備などを開始しながら日程表を見てやっとどこに行くのかが少しずつわかってきました。往路機内1泊、アリゾナ州のSedona泊、Grand canyon(Tusayan)泊、ユタ州のBluff泊、アイダホ州のHailey2泊、帰路機内1泊の7泊8日間。さて、どんな旅行になりますか？8月に入り中古カメラを買い込み心の準備も完了です。

ニコン P7700(中古カメラ)  
試し撮りのお月様





8月16日水曜日、羽田空港国際線ターミナルに11時に集合、15時過ぎのデルタ航空DL006便でLos Angeles国際空港へ約10時間の飛行、現地時間の16日朝9時半に到着(時差-16時間)。入国審査と税関のチェックですが、いつもながら緊張します。税関の荷物のX線検査では三脚が釣竿と見間違われ、スーツケース

を開けられ慎重に中身を確認されました。日食を見に来たのだと言うとすぐに理解してもらえました。簡単な昼食の後14時

40分のDL5781便に乗り継いでアリゾナ州のPhoenix空港へ16時40分に到着。そこには帰国の日の朝までの長い、長い、長〜い道のりを共にするバスが待っていました。Phoenixから観測地May Family Ranchまで1359miles(2187km)、皆既日食前日の観測地までの下見往復217miles(350km)、皆既日食当日の観測地からSalt Lake Cityまでの帰国のための移動347miles(558km)を合わせ、約1923miles(3095km)のバス旅行が始まりました。

私たちツアー客24人はPhoenix空港からデニーさんが最後の日までたった一人で運転するバスに乗りこみ、アメリカ1泊目のSedonaを目指しました。Sedonaおよびその周辺のエリアは有名なパワースポットということで、病気が治るなどと世界中から訪れる人も多いようです。ホテルに向かう途中、日没をRed Rocksで鑑賞しましたが、少しのタイミングでバスが駐車場に停車する前に夕陽は沈んでしまいました。ホテル(Poco Diablo Resort)はコテージ風でミニゴルフコースもあり、とても素敵なところでした。川沿いの保養地だからなのか美味しい鱒料理をお酒と共に楽しくいただきました。食事の後、星の撮影の予行演習を部屋の前の暗がりで行った後、インドネシア日食でも一緒だった西海さんを部屋に招き、齋藤さんと一緒に成功を祈念して軽い酒盛りをしてから眠りにつきました。ちなみにSedonaという地名はこの地の最初の開拓者の奥様の名前だそうです。



Red Rocks の Bell Rock



ホテルの夕食(魚料理)



朝の散歩でリスと遭遇



アメリカ 2 日目(17 日)は Barringer Crater(Meteor Crater)を見学して Grand Canyon を目指しました。5 万年前に隕石の衝突によりできたこの隕石孔は個人の所有でビジターセンターも 4 年ほど前に建て替えられたそうです。(直径約 1.2 - 1.5km、深さは約 170m)

そこから Grand Canyon Railway の起点の町 Williams に向かい、そこで昼食。この町は昔の大陸横断国道 ROUTE66(Santa Monica⇔Chicago)が通っていた町で Historical な雰囲気をわざと残した通りもあり、土産屋の品物もルート 66 に関係するものが多かったです。バスはその後 Grand Canyon に移動して大パノラマをしばし日没まで堪能、夕焼けを撮影し、その日のホテル(Grand Canyon Plaza Hotel, Tusayan)に向かいました。



Meteor Crater



Historical ROUTE66 St.



Grand Canyon Railway



Grand Canyon



South Rim



Sun set

この夜は自由行動で近くの Mexican Restaurant(Plaza Bonita)にてテキーラとメキシコ料理を楽しみました。その夜がアリゾナ州で最後の宿泊です。この日までは翌朝の出発が 8 時頃でまだまだ、体力的には元気でしたので部屋に戻り、焼酎やウイスキーを飲む余裕がありました。翌朝、朝食後、バッテリーと他のコースに参加していた成田さんと遭遇しました。



テキーラのカクテル



メキシコの豆料理



Plaza Bonita

アメリカ 3 日目(18 日)は朝一番で Grand Canyon のもう一つの Viewpoint の Watching Tower を見学した後、Lake Powell に移動して昼食です。Lake Powell は堰き止め湖ですが、地中海のリゾート地のように、クルーザーなどが多く停泊していました。昼食をとったホテルの駐車

場近辺にはボートを牽引した車やキャンピングトレーラーがたくさん停まっていて、アメリカ人の豪華なレジャースタイルを垣間見ることができました。その後 Antelope Canyon を見学したのですが、囚人の護送車のようなトラックに押し込められ、砂埃の中を Antelope Canyon の入り口まで進みました。Antelopeとは羚羊(ひつじ)のことで、インディアン少女が羚羊を追っていた時に偶然に発見したとのこと。今ではこのエリアのインディアンの貴重な観光客からの収入源だそうです。神秘的な洞窟の内部から空を見上げると光が砂などと交錯して不思議な色合いを岩肌に映します。その後、西部劇の舞台として有名な山や岩が林立する Monument valley を車窓から見ながら宿泊地 Bluff に向かいました。ここからユタ州です。(時差-15時間)



Grand Canyon



Watching Tower



Watching Tower

この日も快晴、雨の心配はないと思いましたが Monument valley を過ぎてから少しか雨が降りました。



気候は快適です



Lake Powell



Antelope Canyon



Antelope Canyon 向かう



Antelope Canyon



Antelope Canyon

この夜は Dark of The Sky Park での星空観測の予定で、みんな楽しみにしていたのですが Bluff のホテル(Desert Rose Inn & Cabins)に着いたのがこの日も 20 時過ぎとなりました。夕食はこの旅行で初めての美味しいステーキだったのですが、ワインもビールも楽しむ時間がなく、慌ただしい食事となり少し残念でした。21時にはバスに再度乗りこみ国立公園のビジターセンターに



向かいました。こちらに着いたのが22時過ぎ、トイレを済ませ、細くなる道を更に奥に進みました。やっと本来の目的地 Dark of The Sky Park に着いたのは22時半過ぎで明朝の8時出発の行動を考えるとおよそ40分弱しか星空観測の時間はありませんでした。ただ、私が想像していた程の降るような星空でもなく、信州のしらびそ高原とそれほど変わらない印象です。



Monument valley



美味しかったステーキ



モーテル風の部屋

アメリカ4日目(19日)はひたすら北上するだけ、途中 Salt Lake City (SLC) でモルモン教の寺院の見学。昼食、トイレ休憩以外はただひたすらアイダホ州の Hailey に向けて走りました。ガソリンスタンド併設のマーケットストアでは鎮痛剤、胃腸薬の類は普通に売られています。薬剤師や特別の販売員は要らないそうです。



さあ、出発です



GS 併設のマーケットストア



モルモン教の寺院



SLC 手前の中華レストラン



ひたすら走ります



Hailey 着きました



バスの計器類



グロッサリーストア



豆腐も人気のようです

20 時 15 分ホテル(Wood River Inn & Suites)着、近くのグロッサリーストアで買い物をして昼食残りの中華料理と西海さんが日本から持参の缶詰や私や齋藤さんが持参したおつまみなどを開け簡単な食事をして早々に休みました。さすがに連日のバスの移動で疲れがたまり始めました。アメリカ 5 日目(20 日)は朝 8 時出発で観測地の下見と火山の溶岩流の跡 Craters of the Moon National Monument & Preserve を見に行きます。朝は清々しいというよりも寒いです。疲れと睡眠不足はピークとなり観測地下見の後の溶岩流の見学はパスしたいという意見も出ていましたが、多数決で予定通り Craters of the Moon に寄りながらの一日となりました。観測地は Hailey から更に北 103miles(166km)の Clayton 近郊の May Family Ranch です。



簡単なホテルの朝食



遠くにロッキー山脈



観測地の May Family Ranch

2 時間かけてやっと May Family Ranch に到着。途中、スキーリゾートで有名な Sun Valley の町を通り、標高 2000m の山を越えてバスは進みます。遠くにロッキー山脈でしょうか？残雪が見えました。May Family Ranch では各自、思い思いの場所を陣取り、太陽と地上の位置関係など翌日の本番をイメージしてから昼食をいただき、またバスの人となりました。観測地は芝があり、照り返しもなく良い場所です。ここに国際航空旅行のツアー客が 150 名弱が集まります。



May Family Ranch の昼食



Graduation Mountain, Arco



Craters of the Moon

下見の後、バスは 103miles(166km)先の Arco 目指して走ります。Arco は狩野親子の観測地です。途中入った連絡により Craters of the Moon のビジターセンターは混雑のため入場規制をしているとのことで、予定を取りやめて立ち寄らずにホテルに戻りました。そのお蔭で 17 時という早い時間に部屋に戻り、少しゆっくりとした買い物をして、18 時頃から近くの Power house での食事を 5 人で楽しむことができました。





Power house で晩ご飯



Wood River Inn & Suites

翌朝は 4 時出発のため早めに眠りにつく予定でしたが、なかなか寝付けませんでした。

アメリカ 6 日目(21 日)の朝を迎えると気持ちの良いさわやかな空気が立ち込めています。早朝の散歩をして早々にバスに乗り込みました。連日の睡眠不足からガイドさんのおしゃべりを封印してもらい、2 時間のうとうと眠りに入ります。観測地 May Family Ranch に渋滞もなく 6 時過ぎに到着。外へ出てみると「晴れています」、このまま半日は維持して欲しいと思ひながら、先ずは各自が好きな場所を確保します。赤道儀などを持参した重装備の人はセッティングに余念がありません。私はサポートテントやトイレに近い小屋の近いところに陣取り、ビデオ用の三脚とコンデジ用の小さな三脚をスーツケースから出してセッティングをしました。今回の場所ではオーストラリアの時のような鳥の鳴き声は聞こえませんでした。7 時 37 分に日の出を迎えたのでピント合わせや太陽フィルターのチェックなどを開始、一通りの準備を終えて朝食です。皆既まではまだ 3 時間半あります。朝食後改めて機材のチェックをするとメインの三脚の雲台の動きが固くて重いのです。中国の日食では砂と暑さで雲台が壊れてしまったことを思い出しました。今回も雲台を動かしていると金属の細かい屑が出てきます。これはヤバいです。潤滑油がないかあたりの人に聞きましたが持っている人は近くにはいないようです。最悪、食用油と思いましたが西海さんが May Family Ranch の人に聞いてくれ、潤滑スプレーを借りることができ、あっさりと問題が解決しました。ちなみに潤滑スプレーは Lubricating spray と言います。さすが工学部教授だった西海さん、Lubricant という単語がすぐに出てきました。感謝感謝です。



Sun rise



私の撮影機材



成功祈念(記念)撮影



おおよその準備完了



だいぶ欠けてきました



皆既 3 分前



第二接触直後



皆既開始コロナが出現

11 時 28 分、辺りがすーっと暗くなり第二接触が始まりました。ビデオのモニターを見ていたら、ダイヤモンドリングの写真を撮り損ねてしまいました。11 時 29 分青空には黒い丸い点があり、その周りにコロナが広がります。歓声が沸きます、誰もがその瞬間を見えています。ゆらゆらとした時間が流れ、およそ 2 分後の 11 時 31 分第三接触のダイヤモンドリングと共に世紀の Great America Eclipse の瞬間が終わりました。後で気づいたのですが皆既中に広角での全景写真も撮りたいと思っていたのですがすっかり忘れてしまいました。あっという間の 2 分間でしたが今回のコロナは肉眼でもとてもきれいに見えた気がしました。毎回のことですが欲張りすぎて計画通りうまくいきません。ビデオやカメラのモニター越しに見ているのはダメですね。次回はビデオも辞め、小さなカメラ 1 台にして、できるだけ肉眼で楽しみたいと思います。でも、欲が出るのですよね。





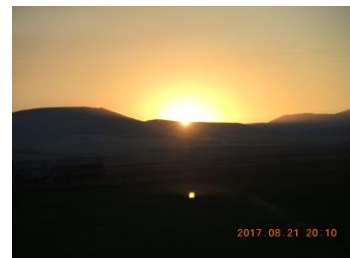
第三接触(ダイヤモンドリング) 木の葉の影が欠けて見えます 帰路のバスに乗りこむ前に13時50分 May Family Ranch を後に国道15号に入り一路最後の宿泊地 Salt Lake City に向かいます。スナナリ行けば約6時間強(347miles≒559km)の移動ですが、やはり大渋滞に巻き込まれました。20時ごろまでに到着したら、狩野親子と合流して祝杯をあげようかなどという計画は無残にも散り去ることとなりました。一時はホテルにもたどり着けず、空港へ直行かとも……心配しましたが、バスは途中休憩を何度かとりながらも約10時間かけてホテル(Crystal Inn Hotel & Suites)に到着。その時間はそのホテルを日本に向けてチェックアウトする予定のわずか3時間前の午前様でした。



大渋滞の15号線へ



トイレ休憩



車窓からの日没



トイレと夕食休憩



やっとホテルへ到着



出発約2時間前

シャワーと荷物整理が終わると深夜の1時半過ぎ、疲れているという領域は越えています。ほんの少しでも眠る努力をして3時に起きました。

アメリカ7日目(22日)の朝を迎えたというよりも昨日の続きのようですが、まだ暗い早朝3時30分、ツアー客を乗せたバスはCrystal Inn Hotel & SuitesをあとにSalt Lake City国際空港へ向かいました。日本までの搭乗手続きの後、出国審査・税関では靴を脱ぎ、ベルトを外しての厳重な検査を受けました。日の出とともにデルタ航空のDL817便はLos Angeles国際空港へ向けて飛び立ちLos Angeles時間の朝8時に到着しました。(時差1時間戻します)



Salt Lake City国際空港



デルタ航空のDL817便



日の出を見ながらの離陸

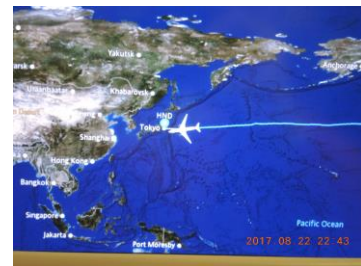
Los Angeles国際空港内で軽く朝食をとり、初めてゆっくりと土産物屋を見て回り、定刻より1時間半近く出発が遅れたデルタ航空DL007便で日本への帰国の途につきました。



Los Angeles国際空港



機内の軽食



羽田到着までもう少し

8月23日水曜日午後4時少し前、飛行機は羽田国際空港に到着、長い8日間の旅行がほぼ終わりました。入国審査、税関を抜け、荷物を手に各自リムジンバスに乗りこみ、懐かしい我が家へと帰って行きました。

私は早速、なじみの小料理屋へ向かいたかったのですが、あいにく水曜日は定休日、仕方なく、スーパーに行って買い込んだ刺し身の盛り合わせとちらし寿司、いわしの蒲焼で一杯です。翌日24日は小料理屋で焼き鳥、鰻の塩焼きなどを肴に焼酎を飲みました。やっぱり、日本の食事が一番美味しいですね。

アメリカ、ハワイ×、タイ、ナコーンラーチャシーマ○、中国、ハミ○、中国、武漢○、チリ、イースター島○、茨城県、大洗○、オーストラリア、ケアンズ(マリーバ)○、インドネシア、パル○、アメリカ(アイダホ)○ と皆既日食、金環食合わせて8勝1敗です。心はもう再来年の南米チリ、ラ・セレナにほんの少しだけ動いています。お付き合いいただきました皆さま、ありがとうございました。また、どこかの日食でお会いいたしましょう。



帰国当日の晩ご飯 ちらし寿司とお刺身



近くの小料理屋の鰻の塩焼き

2017年9月11日記す。